

## ファンドマネージャーの眼

ファンドマネージャー独自の視点で市況を分析



### 『地方経済回復のきっかけは？』

2017年3月24日

債券運用部

1年ほど前から2ヵ月に一度の割合で実家に帰省しています。実家のある市町村は香川県の瀬戸内海に面した中央部に位置しており、特に過疎化が進んでいる訳でもありませんが、その他多くの全国の市町村と同様に、かつて賑わっていた商店街では多くの商店がシャッターを下ろし、日中でも人通りはまばらです。郊外には大型商業施設もありますが、それほど活気がある感じもしません。少子高齢化や中心市街地の空洞化のせいなのでしょうが、私の通っていた小学校も学区の整理統合により廃校になったということは何年か前に聞いた時は非常に驚きました。

#### <地方から都市への人の転出>

総務省が発表している人口移動報告書によると、2016年の1年間における日本人の都道府県間の移動者数（住所を移し、転入の届出を行った人数）は、227万5331人で、前年比5万9407人の減少となっています。ただ、東京圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）中心に転入超となっている一方で、その他多くの地域は転出超となっています。また、移動者数を年齢層別にみると、20～29歳が全体の約37%を占めており、若年層の移動が都市部に集中しているようです。これは、大学への進学の影響もあると考えられますが、地方に比べて都市部では雇用機会が豊富であることや、賃金水準も高いことなどが大きな理由ではないかと思われます。こうした人口移動により、地方の労働人口が減少することが、地域経済の停滞につながっている一つの要因ではないでしょうか。

#### <インバウンドへの期待>

地方経済の活性化に即効性のある対策はないように思われますが、明るい材料も見受けられます。その一つが、地方を訪問する外国人旅行者が増加していることです。確かに、私が帰省した際に昼食を食べに行った店でも、外国人旅行者が多数で来ていました。観光庁の宿泊旅行統計調査では、平成28年の外国人延べ宿泊者数の前年比伸び率が、三大都市圏（東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫）の+4.8%に対し、地方部は+13.2%となっています。これは、地方空港における格安航空会社（LCC）の新規就航や増便などの交通アクセスの向上や、地域ならではの自然や文化などの観光資源を有効活用していることが、外国人旅行者を引き付けている要因ではないでしょうか。外国人旅行者には従来のような爆買いは望めないものの、旅行者数の増加により、全体の消費額が堅調に推移していくことが期待できるとみています。

#### <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

## <日本人への期待>

2017年2月よりプレミアムフライデーが始まりました。プレミアムフライデーは、月末の金曜日に定時前退社をして消費拡大につなげようとするものです。こうした取り組み自体には賛同するもの様子見をしている企業も多く、広がりを見せるまでには時間がかかるようです。飲食店や旅行会社などは、新規の商品サービスを打ち出しています。定時前に退社できればよいのですが、そうでなくても金曜日は早めに退社して週末の余暇を楽しめれば、精神的にもリフレッシュできると思います。また、2017年4月は、JRが発足して30年になります。JR各社は30周年を記念してお得な記念キップを販売するようなので、週末を利用してどこか地方都市に小旅行するのもよいのではないのでしょうか。

日常生活の行動や考え方が固定化しやすい中で、見知らぬ土地に行き、人間の持つ五感を通して膨大な情報を脳に伝達させることは、新たな価値観を生み出し、柔軟な脳に切り替えるチャンスでもあるかもしれません。もちろん、柔軟な脳を作り、変化を感じ取る感性を養うことは、運用業務に携わる人間として非常に大事なことだと思っています。

前述したインバウンド需要の獲得に向けた地方自治体や関連企業の取り組み、そして日本人が週末の生活習慣を少し変えて、地方に目を向けることが、地方経済の活性化に繋がるとともに、国内景気の回復も後押しするのではないのでしょうか。

地方経済の本格的な回復を期待しつつ、より高い運用パフォーマンスを上げるための感性を磨くために、これまで訪れたことのない場所に行ってみることにします。

## <本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、あくまで情報提供を目的としたものであり、一部主観及び意見が含まれています。最終的な投資判断は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、ファンドマネージャー等の実際の運用等に何ら制限を加えるものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。